

# 議会だより

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>



## 12月議会報告

(一般会計補正予算・議決事項) .....	2~6
議会改革を決議 .....	7~9
一般質問 .....	10~16
全員協議会レポート .....	17~18
まちれぽ .....	19
町民の声 .....	20

令和5年 **2**月1日 発行



# 高騰に緊急支援

## 第7回臨時会・第8回定例会

11月15日に令和4年第7回臨時会、12月1日から7日まで第8回定例会が開催されました。臨時会では、エネルギー価格高騰の影響により家計や経営に苦む低所得者世帯と事業者に対する交付金など2億1469万3千円を増額補正し、定例会では、出産・子育てを応援する交付金など、1億5076万7千円を増額補正し、合計で一般会計の総額は131億9817万5千円となりました。

一般会計総額は  
**131億9817万5千円**

### 議会で決まった主な事業

#### 振興計画策定の見直し

国がデジタル推進のため設けた交付金に対応できるよう振興計画を見直すための委託料。



写真は本町地区の懇談会

123万円

#### 出産・子育て応援交付金

令和4年4月以降に妊娠、出産した家庭に計10万円を交付するもの。



400万円



## 公共施設の電気料高騰

学校、庁舎等、公共施設にかかるエネルギー価格高騰のため、増額補正するもの。



**1460万円**

## エネルギー価格高騰への緊急支援 ※第7回臨時会

エネルギー資源価格高騰のため町内事業者、低所得世帯等を支援するための交付金。

**商工業者への支援 8270万円**

従業員数に応じて、10万円から最大100万円までを支援

**医療・福祉事業者への支援 1060万円**

正規雇用者数に応じて、10万円から最大100万円までを支援

**住民税非課税世帯に対する緊急支援 9848万円**

住民税非課税または家計が急変した1世帯につき5万円、約1700世帯を支援

## 商工業者への支援給付金の状況

※令和4年12月1日開始～  
令和5年1月16日時点

事業規模 (従業員数)	交付件数	給付金額
1～10人	179	1790万円
11～20人	17	340万円
21～50人	9	450万円
51人以上	8	800万円
合計	213	3380万円





# 主な議案と質疑応答

## 条例の一部改正

### ●議案第89号

町立幼稚園設置条例の一部改正

【概要】令和5年3月31日で川俣幼稚園、福田幼稚園、富田幼稚園、川俣南幼稚園を廃止する条例（※認定こども園開設のため）

### 質問

山木屋幼稚園は休園のまま残すことになるが、入園予定はあるのかもし、入園希望があった場合は教諭の確保など再開できるのか。

（高橋清美議員）

### 答

山木屋地区の未就学児は5人ですが、11月時点で入園希望はありません。地区への帰還促進のための措置で、もし希望があれば、再開できるようにします。

（子育て支援課長）

### ●議案第91号

社会体育施設設置条例の一部改正

【概要】国道349号線の整備に伴う移転のための県が整備し譲渡した大綱木グラウンドを施設一覧に追加するもの。

### 質問

公布の日から施行し、10月11日から適用する、ということだが、逆る理由は。

（佐藤喜三郎議員）

### 答

福島県から受領した日まで遡って適用するものです。（生涯学習課長）

## 補正予算の審議

### ●議案第81号

令和4年度一般会計補正予算（第7回臨時会）

【概要】3ページに記載した緊急支援のほか、マイナンバーカード取得促進

のため、団体等に出張申請を受け付け、謝礼とし

### 答

①義務ではなく、あくまで個人の希望に基づいて取得していただくものであることを丁寧に説明していきます。

②カードを取得しないと保険証が持てない、という訳ではないことを丁寧に説明していきます。

（町民税務課長）

### 質問

エネルギー価格高騰対策の支援金は、一般財源が充当されているが、全額国費ではないのか。町独自の、上乗せして助成する事業なのか。

（佐藤喜三郎議員）

### 答

町が事業構築して実施します。交付金に不足する額を一般財源から充当するもので、計上額は見込になります。

（財政課長）

### 質問

マイナンバーカードについては、個人番号制度という点で過去3回にわたって議会で反対する意見書を提出しているその経過を踏まえているのか。

（菅野清一議員）

## 議案採決表

議案	山家恵子	石河ルイ	菅野信一	作田善輝	蓮沼洋志	高橋清美	高橋真一郎	菅野清一	新関善三	佐藤喜三郎	村上源吉
第81号 令和4年度川俣町一般会計補正予算（第4号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対



**答** 議会の意見は尊重しなればならないと考えますが、希望者に便宜を図るといふ点も重要であるため、普及を図っていきます。(副町長)

**【討論】**

**反対** マイナンバーカードの施策は、町民の理解が深まっていない段階で、出張申請や謝礼により強力に押し進めるべきでないと考えるので反対する。(石河ルイ議員)

**【採決】**

賛成多数で可決されました。  
※4ページ採決表をご覧ください。

●議案第93号  
令和4年度一般会計補正予算(第8回定例会)

**質問** ①繰越明許費(※事業が年度内に終了しないため、あらかじめ予算を次年度にも使えるよう

にするもの)にした、除染対策事業費の状況は。②歳入の損害賠償金の内訳は。③庁舎管理費の備品、個室ブース設備とは何か。④新規就農者経営開始資金補助金はどのような職種に対するものか。(高橋清美議員)

**答**

①仮置き場7カ所分を返還するため現在設計中ですが、工事が年度内に終了しない見込であるため繰り越すものです。(原子力災害対策課長)  
②介護保険サービス費に係る東京電力の損害賠償で、平成24年から29年分の約2443万円です。(財政課長)

③ウェブ会議に使用する、電話ボックスのような備品2基を購入するものです。(総務課長)

④新規就農直後の支援資金として、半年分、3名に対する補助を計上しています。(農林振興課長)

**質問**

①歳入の法人税額が約943万円の減額補正になるが、どのような

状況か。②浄化槽設備整備事業が増額になっているが、現状は。③認定こども園の厨房機器賃借料を減額補正するのはなぜか。(佐藤喜二郎議員)

**答**

①災害復旧事業の終了等によるものです。②今年度は全部で33件となっています。(町民税務課長)

③当初予算では本年度内にリース料が発生することと想定していましたが、今年度内は発生しないため減額するものです。(子育て支援課長)

**質問**

生活のしづらさの調査委託料、約5万円の内容は。(菅野清一議員)

**答**

県からの指定を受けた1地区分の調査員の費用で、障がい児、障がい者等、長引く病气やけがなどで生活のしづらさがある方を対象に実施する調査です。(保健福祉課長)

**質問**

①新規就農者経営開始資金補助金は、半年後も続くのか。②新規就農者の動向は。(作田善輝議員)

**答**

①新規就農者開始資金補助金は、新規就農前と就農後の計7年間、県の補助が受けられるものです。②令和3年は2人、令和4年の現時点では3人となっています。(農林振興課長)

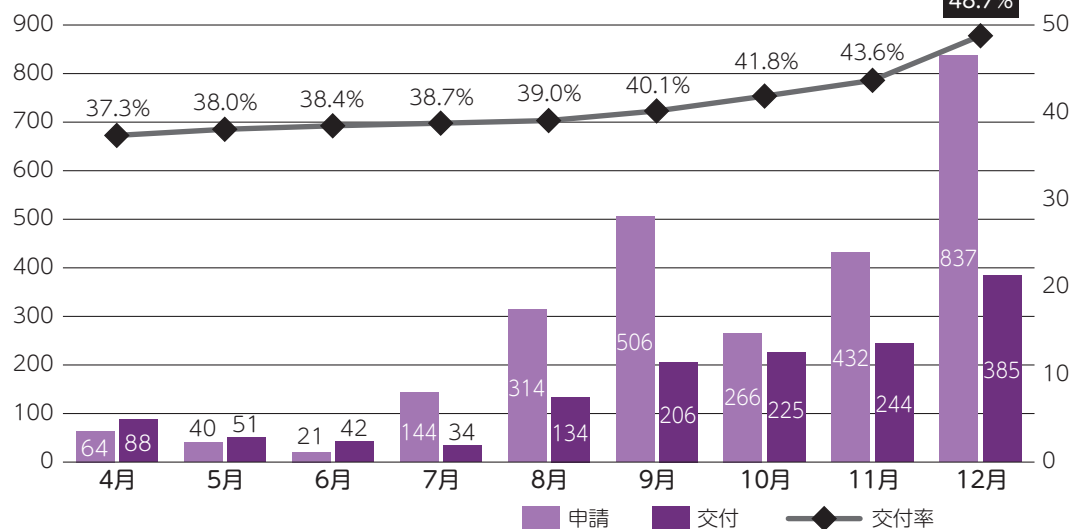
**人事案件**

●議案第97号  
教育委員会教育長の任命

次の方の再任について同意しました。3期目で、任期は令和4年12月23日からの3年間です。



12月末時点のマイナンバーカード申請・交付件数



町民の取得率  
**48.7%**  
累計 6,012人  
(申請者7,028人)

# 11～12月に開催した議会審議結果

議案	件名	審議結果
11月15日開催 第7回議会臨時会		
第81号	令和4年度川俣町一般会計補正予算（第4号）	4ページ採決表をご覧ください
12月1日～7日開催 第8回議会定例会		
第82号	川俣小学校体育館改修工事請負契約の一部変更について	可決（全会一致）
第83号	（仮称）かわまた認定こども園整備工事請負契約の一部変更について	可決（全会一致）
第84号	川俣町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第85号	川俣町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第86号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第87号	川俣町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第88号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第89号	川俣町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第90号	川俣町立幼稚園預かり保育に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第91号	川俣町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第92号	川俣町保育所条例を廃止する条例	可決（全会一致）
第93号	令和4年度川俣町一般会計補正予算（第5号）	可決（全会一致）
第94号	令和4年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第95号	令和4年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第96号	令和4年度川俣町水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第97号	教育委員会教育長の任命について	同意（全会一致）



# 「町民の期待に応える」議会へ

# 議会改革

を進めます



令和2年12月から2年間にわたって調査してきた「議会改革等に関する調査特別委員会」の報告書が提出され、あわせて「議会改革の取組に関する決議」が委員長発議により提案され、決定しました。

決議は、議会としての意思を決定するもので、この決議により、今後、議会改革を進めていきます。

議会改革は、調査報告した4つの分野について進めることとし、一つ一つ具体化しながら取り組んでいきます。

調査最終報告書  
はこちらから▶



令和3年実施の  
アンケート結果  
はこちらから▶



## 1

## 議会・議員の役割・あり方



### (1) 議会改革の継続的取組

町民の期待に応え、議会改革を住民の目に見えるかたちで表し、議会として、住民福祉の向上を追求し、実現させていかなければならない。議会改革を不断の取組として位置づけ、確実なものとするため、行動計画書等具現化のための仕組みについて、適宜検討のうえ、全員協議会で協議しながら進める。

### (2) 議員研修と資質向上

- ① 総務産業常任委員会及び厚生文教常任委員会の2つの委員会（以下、「政策系2つの常任委員会」という。）の所管事務調査（先進地調査）を実施したときは、各委員が調査報告書を作成し、委員長に提出する。（※委員長は、川俣町議会会議規則（以下、「規則」という。）第77条に基づく報告書を作成する。）
- ② 報告書は、議会で報告するにとどまらず、調査結果が町政並びに住民福祉の向上のため活かされるよう、報告会の開催や提言書の提出等、各委員会で検討する。
- ③ 常任委員会及び議会運営委員会については、議員の経験と知識を高める絶好の機会である。現在は議員の任期と同じ4年の任期となっているが、任期の途中であっても所属委員の交代が認められるよう2年に改める。その他の役職等についても、議員が、幅広く経験と知識が得られるよう配慮する。

### (3) 議会の政策提言

- ① 政策系2つの常任委員会においては、所管事務について、町政進展上の課題となっている事象の把握に努め、調査し、協議、検討のうえ、一定の結論が導かれたときは、町長に対し政策として提言できるような運営（政策サイクル等恒常的な取組）に努める。
- ② また、政策系2つの常任委員会の運営において、議会本来の役割である「批判と監視」「意思決定」を重視し、2で提案する「議会モニター」の活用にも努める。

## 2

# 議会への住民参加



### (1) 議会モニター等議会への住民参加

議員のなり手不足の課題、議会への理解促進、地方自治制度の持続的発展のため、「議会モニター制度」は有効であると考えられるので、議会運営委員会において、制度の検討、創設を図る。

※議会モニター制度…北海道芽室町議会などで採用される議会への住民参加のしくみ。本会議や委員会の傍聴、議員との意見交換などを行う。

## 3

# 議会の機能強化、議会運営の適正化

### (1) 一般質問、質疑等の発言

議員は、会議中、一般質問や質疑を行う目的と効果をよく見定めて発言するとともに、単なる事務的な見解を質すもの、説明を求めるだけの内容に終始するなど、改善の余地があると判断されるときは、議会運営委員会において、適宜検討のうえ、議員申し合わせを行う。

### (2) 規則、申し合わせ事項の確認と厳守

規則のほか、川俣町議会運営に関する基準等のうち、運営に支障が生じると判断される規定から順次、議会運営委員会において検討のうえ速やかに改正する。また、その他の事項については、議会運営委員会で議員申し合わせを提案のうえ、全議員で共有し、運用の徹底を図る。

### (3) 議選監査委員制度の運用

議会から選出される監査委員については、現行の制度を運用しながら、予算決算常任委員会の審査が円滑に、議論の余地なく運営されるよう、配慮した決算審議のあり方について、議会運営委員会において継続協議する。

### (4) 議会※DXと議会※ICTの推進

- ① 議会DX、ICT推進について、議会運営委員会において、推進組織、スケジュール等について調査、検討し、順次方針を示す。
- ② 特にタブレット端末については、各種計画書や例規集等、膨大な資料を格納しデータベース化することができ、議会運営の効率化や、議員の資質向上に大きな成果が期待されるので、通信環境の整備と貸与、運用規定等の整備について検討する。
- ③ そのほか、SNS等により効果的な情報公開、共有についても検討を進める。
- ④ 町長においては、必要な予算の確保に特段の配慮をされたい。

### (5) 政策系2つの常任委員会の機能強化

※1の(2)③と、1の(3)の内容に同じ。

※DX……デジタル・トランスフォーメーション。デジタル技術による変革。

※ICT…インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー。情報伝達技術。



# 4

## 議員報酬、議員待遇



### (1) 議員報酬の改定

※第32次地方制度調査会答申において「議員報酬については、主として小規模市町村において、それだけでは生計を維持できないほどの低水準であり、そのことが議員のなり手不足の要因であるとの議論がある」と指摘されている。

全国町村議会議員報酬の平均が21.6万円であるのに対し、勤労者世帯の世帯主定期収入が33.0万円でありその差は11.4万円である。市議会議員の議員報酬平均は33.3万円である。全国的な課題となっているにもかかわらず、実際は、地域が自ら地方自治について考え、維持、発展させるために必要な議員報酬額がいくらであるのか、判断しなければならない。

議員各位は、自ら研鑽と住民意見の反映に努めるとともに、議会改革を住民の目に見えるかたちで表し、議会として、住民福祉の向上を追求し、実現させていかなければならない。そのうえで、将来にわたって持続可能な議員報酬について提案し、住民の理解のもと、上昇改定を目指すべきである。

町長は、議員の職責を深く理解するとともに、ともに地方自治の一翼を担うべき、将来も見据えた議会議員の適正な報酬額について検討し、早急に、※報酬審議会に諮問されたい。

報酬審議会の委員の選任に当たっては、議会議員の活動についてよく知る町民等から選任されるとともに、議会から直接説明できる機会を十分に設けられたい。

適正な報酬額の算定に当たっては、※原価方式を参考にされるとともに、議会改革によって増大する活動量を適切に見込まれるよう意見する。

※地方制度調査会…地方制度に関する重要事項を調査審議するため内閣府に設置される諮問機関。

※報酬審議会……「川俣町特別職報酬等審議会」。議員報酬、町長及び副町長給料の額を変更しようとするときに開く諮問機関。

※原価方式……江藤俊昭氏が提唱する活動量・内容から考える議員報酬額の算定モデル。

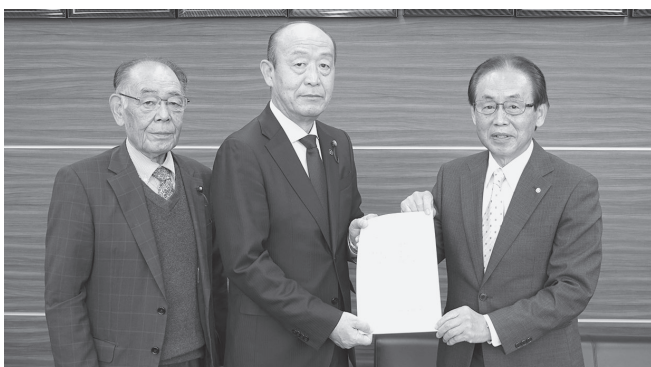


### (2) 議員定数の堅持

現在の議員定数は12人であり、政策系の常任委員会1委員会あたりの人数は6人となっている。町村議会議長会報告書に、「討議できる人数として一常任委員会につき少なくとも7、8人を定数基準としたい（予算決算等の常任委員会、広報広聴等の常任委員会等は除く）」とされる人数を既に下回っている人数であり、これ以上の削減は、議会力の低下であり議会制民主主義の弱体化である。

将来にわたって、議会の機能を維持、向上させていくためにも、これ以上の定数削減は断固として容認すべきではない。

議員定数12人を堅持すること。



決議文を町長に手渡す高橋議長



調査報告と決議文を朗読する村上委員長

# まちの課題を問う！

12月議会定例会の一般質問には6人の議員が登壇しました。

※質問順は抽選により決定されます。



高橋清美議員

11

- 公共施設の利活用は
- 防災無線の運用状況は
- 移住・定住促進事業について



山家恵子議員

12

- 带状疱疹ワクチンの周知と助成について
- 男性用トイレにサンタリーボックスの設置を
- 子育て支援と「妊娠・出産及び子育て応援交付金」について
- マイナンバーカード出張申請について



蓮沼洋志議員

13

- 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザについて
- 交通安全推進について
- 児童虐待と不登校増加について



菅野清一議員

14

- 川俣町自治会担当職員制度の運用は
- 川俣町の自然環境、景観保護に対する町の考えは
- 原子力損害賠償紛争審査会の中間指針の見直しについて



作田善輝議員

15

- 第8派入りと言われる新型コロナウイルス感染症に対する取組について
- 教育現場でのコロナ対策の現状、今後の取組について
- 町の移住・定住の現状、今後の取組について



石河ルイ議員

16

- 介護保険制度改定について
- コロナ感染症対策について
- マイナンバーカード取得について
- ジェンダー平等について町の取組は
- インボイス制度導入について

質問席

一

般

質

問





たか はし きよ み

**高橋 清美 議員**



現在は駐車場として利用されている町民プール跡地

## 公共施設の利活用は

地域意見を聴くなど検討中です

### 質問

①閉校になった施設、閉園となる施設の利活用について、どこまで進んでいるのか。

### 町長

②町民プール跡地の利活用は。  
①閉校になった施設については、現在、財政課で不動産情報を確認し、先進地調査、行政目的での利活用調査、地域で意見交換会などを実施しています。今後閉園になる施設については、振興計画の策定に合わせて検討中です。  
②現在は駐車場として利用していますが、福祉・医療や文化教育施設の玄関口があり、どのような利用が適切か検討していきます。

## 防災無線の

運用状況は

戸別受信機623台を貸与中です

### 質問

①これまでの放送件数及びその内容は。

②町民からはどのような意見、感想が寄せられているのか。  
③戸別受信機の貸与について、地区ごとの状況は。

### 町長

①時報チャイムのほか、古関メロディの放送、クリーン作戦のお知らせ、選挙啓発、コロナ感染症の注意喚起など、延べ400回放送しています。

## 移住・定住促進事業の進捗は

延べ251件の相談に対応しています

### 質問

①移住・定住相談支援センターにおける相談件数及びその内容は。  
②地域おこし協力隊の活動状況は。一人ひとりに寄り添った支援を行っているのか。

### 町長

①これまでで150名、延べ251件の相談・問合せをいただいています。相談内容の傾向は、仕事についてが44%、家族についてが20%、田舎暮らしについてが8%、支援金についてが5%などとなっています。  
②受け入れのノウハウを持つ事業者と連携し、相談や意見交換、全体会を定期的に交換するなど、丁寧な支援しています。

# 一 般 質 問



やま が けい こ

山家 恵子 議員

## 带状疱疹ワクチンの 接種勧奨は

国の動向を注視します

質問

①带状疱疹ワクチンの効果をどう考えているか。  
②带状疱疹の疾病特性や予防早期発見方法などについて周知を図るべきではないか。

町長

①子どものとき水ぼうそうにかかった人が、加齢などで免疫力が下がった場合に発症することがあります。ワクチンの接種は免疫の強化に効果的であると考えます。  
②現在は、任意予防接種となっていて、国において定期予防接種に追加するか検討中です。その動向を注視していきます。

## 男性トイレにサニタリー ボックス設置を

公共施設3カ所に  
設置しています

質問

男性でも高齢者や病気などで尿漏れ。パッドやおむつを使用しなければならぬ場合がある。町の公共施設の男性用トイレにサニタリーボックス（汚物入れ）を設置する考えはあるか。

町長

男性トイレへのサニタリーボックスは、役場庁舎と中央公民館、道の駅の多目的トイレに設置してあります。そのほか、今後検討していきます。

## 子育て支援と「出産・子育て 応援交付金」の活用は

伴走型支援により  
充実を図ります

質問

①町の妊娠・出産、子育て支援の取組と現状は。  
②国の新規事業「出産・子育て応援交付金」を活用してどのような支援を考えているのか。

町長

①妊娠届出以降、出産、育児の様々なタイミングで面談や相談、保健指導、家庭訪問など丁寧サポートしている。



町長が宣言したベビーファースト運動  
「子どもの笑顔があふれるまち かわまた」

## マイナンバーカード 出張申請は

要望に応じて  
検討していきます

質問

出張申請の展開をどのように考えているのか。スポーツ少年団の練習時間に向向などの取組は考えられないか。  
町長 企業、各種団体に向向を12月から開始します。徐々に対象を広げていく方針ですので、ご要望に応じて検討させていただきます。



# まちの課題を問う



はす ぬま ひろ し

蓮沼洋志 議員

## 新型コロナウイルス・インフルエンザへの対応は

### 関係機関と連携して対応します

質問

①新型コロナウイルスの感染とインフルエンザの同時流行への懸念があるがその対策は。  
②高齢者施設、医療・福祉施設等でクラスターが発生しているがその対策は。

町長

①どちらも「接触または飛沫による感染症」ですので、これまで行ってきた感染拡大防止のための基本対策の徹底が重要です。また、ワクチン接種が有効ですので、接種を推奨していきます。  
②施設内の消毒、こまめな換気職員、入所者の毎日の検温、症状の確認、医療機関では一般の受診の方と接触がないような工夫をいただいています。

## 交通安全の推進を

### あらゆる活動により 推進します

質問

①10月に県内交通死亡事故が多発警報が発令されたが、交通対策協議会ではどのような対策を行ったのか。

町長

①毎朝の広報車による広報活動や、メール配信などで警報発令の周知徹底や交通事故防止への呼びかけを強化したところです。  
②ドライバー一人ひとりの法令順守が必要不可欠ですので、警察署川俣分庁舎などと連携しながら、あらゆる活動を通じて啓発活動を行っていきます。

## 児童虐待と 不登校への対策は

### 関係機関、地域ぐるみで 連携して対応します

質問

児童虐待や不登校、子ども問題に町ではどのように対策しているのか。

教育長

令和3年度の町の児童虐待に関する相談件数は15件で、内訳は身体的虐待1件、心理的虐待が10件、ネグ

レクトが2件、要支援が2件でした。対応には、児童相談所、警察、医師会、学校等の関係機関で構成する「川俣町子ども家庭支援ネットワーク」で問題解決のため対応しており、会議のほか、個別ケース会議を開催し、情報共有や支援のあり方、対応を協議しています。不登校には、学校の担任ほか複数の教員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、本人だけでなく保護者への相談支援も行っています。



歩行者とドライバーが協力して交通安全なまちへ！



かの きよ かず

菅野清一 議員

## 自治会担当職員制度の運用は

### 協働のまちづくりに活かしていきます

**質問** ①これまでどのような成果があったのか。

②今後はどのように活かしていくのか。

③行政と住民の距離を縮めるためにも、地域の行事等にも積極的に参加させるべきではないのか。

**町長**

①当制度は、地域と行政による協働のまちづくりを推進するためつくられたもので、これまで振興計画や地域福祉計画等、地区ごとの計画づくりなどに活かされています。

②地域づくりの支援、地域住民の相談窓口として、地域課題の解決につなげられるよう活用していきます。

③山木屋地区の獅子舞の準備に職員10数人が参加したと報告を

受けています。各地区で様々な行事がありますので、どのような関わり方ができるのか、検討していきます。

## 風力発電と自然・景観保護への考えは

### 開発には同意しない考えです

**質問**

①飯坂、小網木、山木屋地区の尾根伝いに計画されている国内最大の風力発電計画は、町の自然、景観破壊につながると思うが、町の考えは。

**町長**

①(仮称)笹峠風力発電計画については、「同意しない」考えです。事前検討段階ですが、町が定めた条例の「自然環境、景観及び良好な生活環境の保全に支障がない」ということに反するものと考えています。

**町長**

②「風力発電はエコではない」と言ってきたが、変わっていないか。

①(仮称)笹峠風力発電計画については、「同意しない」考えです。事前検討段階ですが、町が定めた条例の「自然環境、景観及び良好な生活環境の保全に支障がない」ということに反するものと考えています。

## 原賠審の中間指針見直しへの考えは

### 長年の交渉の結果と 考えます

**質問**

①原子力損害賠償紛争審査会は、損害賠償の基準である中間指針の見直しを発表したが、どのように評価するか。

②見直しに至った背景は何だったと思うか。

**町長**

①「帰還困難区域以外の故郷または生活基盤の変容・喪失に伴う精神的賠償」など、新たな基準の設定や賠償額について取りまとめることとされておりますが、引き続き、東京電力が誠意を持って賠償を行うよう求めてまいります。

②長期間にわたった裁判の結果や個別の和解、仲介事案についての専門的な調査、分析がなされたものであり、原発避難者の方々などの、国や東京電力との困難な交渉の積み重ね、ご苦労があつて実現したものと考えています。



直径158メートルの風車が11基計画されている



# まちの課題を問う

## 新型コロナウイルス第8波への対応は

### ウイズコロナで対応します

**質問** ①新型コロナウイルスの接種状況は。

②感染が拡大しているがその対策は。

③ウイズコロナとして、町の取組、事業、行事の進捗状況は。

④今後の取組、対応は。

**町長** ①オミクロン株対応の2価ワクチンの接種状況は、11月28日時点で、23,000人、20%の方が接種済みです。

②「新型コロナウイルス感染症対策本部からのお知らせ」により、改めて、感染予防の基本対策を呼びかけています。

③④現状においては、市中には常に新型コロナウイルスがある、ということ为前提に、社会経済活動を維持していくことが必要ですので、感染状況にも配慮し

つつ、感染対策を徹底しながら、コロナ禍以前の事業実施や行事開催を目指していきたいと考えています。

### 移住・定住の現状は

#### 地域おこし協力隊と連携していきます

**質問** ①移住・定住相談支援センターの活動状況は。

②移住・定住者の動向、今後の見通しは。

③地域おこし協力隊の現況、今後の見通しは。

### 教育現場におけるコロナ対策は

#### 保護者の協力を得ながら実施します

**質問** ①教育現場のコロナ対策の現状は。

②教育現場での行事などの対応は。

③全国的に不登校生徒が増加しているが、町の現状は。

④今後の取組、対応は。

**町長** ①令和3年7月から、平日、2名体制で相談等の業務にあたっており、これまで150人、延べ251件の相談、問い合わせがあります。

②相談者は県外が約56割、年代では20〜30歳代が約32割、40〜50歳代が約21割となっています。内容は、転職や就職が約44割、Uターンや親族との同居が約20割となっており、こうしたニーズにえられるような取組に努めます。

③現在、雇用型が2事業所に2名、企業研修型が1名、起業・

#### 教育長

①日々の基本的な対策に加え、学校医の助言を受けながら、換気、健康観察、さらなる基本対策の徹底に努めています。

②学校行事それぞれの特性に応じた感染対策をしながら実施しています。

③感染を心配して不登校となっている児童生徒は、現段階ではいません。

④「ウイズコロナの新しい段階への移行」に向け、保護者の協力を得ながら、対策を徹底していきます。

個人事業主型として4名、計7名が活動しています。さらに、令和5年4月採用の募集に対し、3名の申し込みがあります。

④地域おこし協力隊が町についての情報発信をしたり、移住者の先輩として相談に応じたりするなど、サポーターとしての役割も期待しています。



さく た よし てる

作田善輝 議員



いし かわ  
石河ルイ 議員

## 次期介護保険制度への考えは

状況を注視して  
いきます

**質問** ①介護保険制度の次期改定案は、改悪ではないのか。サービス抑制になるのではないか。  
②要介護認定を受けてサービスを利用していない人は何人か。その理由は。

**町長** ①財務省の審議会で議論されている、利用者の自己負担額の引き上げ、などの内容と思いますが、厚生労働省からの正式な通知はありませんので、状況を注視していきます。  
②令和4年9月末で1771人です。念のために申請をしたケースや、本人が自立できるといったケースが見られます。

## 手厚いコロナ対策支援を

県が所管し  
対応しています

**質問** ①コロナ対応地方創生臨時交付金を、検査の拡大に活用できないか。  
②感染者が十分な医療を受けられないよう、県に働きかけるべきではないか。  
③町内のクラスターの実態を把握し公表すべきではないか。

**町長** ①県において、有症状者への検査キットの無料配布等を行っています。  
②感染者への支援は県が一元的に実施しており、必要に応じて要請をしていきます。  
③クラスターの実態を所管するのは、保健所であり、公表についても、県で実施しています。

## マイナンバーカードは安心なのか

適切に対応します

**質問** ①国保の保険証を廃止し、カードに一元化するというが、事実上の義務化ではないのか。  
②情報漏洩の心配はないのか。

## インボイス制度導入に支援を

関係機関を通じて  
支援します

**質問** 中小事業者や、個人事業者に支援する予定はあるのか。

**町長** 制度は、課税事業者である売り手が発行する「適格請求書」によって記載された税額のみを控除できるものですが、その登録や税務署への申告が必要で、中小、個人事業者にとって様々な課題が生じるものと思います。商工会や福島税務

**町長** ①具体的には今後、正式な方針が示されるものと思います。制度改正に即して適切に対応していきます。  
②カードのICチップには、住所、氏名、生年月日、性別などの必要最小限の情報が記録されているだけで、そのほかの情報は、年金は年金事務所、地方税は市区町村など、それぞれ分散して管理され、安全に利用できるものと認識しています。

署、認定農業者会などで制度説明会を実施しており、広報誌に掲載するなどして支援していきます。

**特集 インボイス制度**

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されます。適格請求書(インボイス)を発行できるのは、「適格請求書発行事業者」に限られ、この「適格請求書発行事業者」になるためには、登録申請書を提出し、登録を受ける必要があります。

インボイス制度 国税庁

**公表サイト**

中小事業者等の負担増が懸念される  
インボイス制度

※QRコードは国税庁の特設サイト





# 全員協議会レポート

12月定例会にて決定した、議会改革の取組に関する決議（p.7～9参照）により、議会へのタブレット端末の導入に向け、タブレットの基本操作方法や、会議資料の閲覧方法などを学ぶ体験会を行いました。

議会資料を電子化することで、印刷にかかるコストや時間を大幅に削減できることや、過去のデータもタブレットに格納でき、探したい資料をすぐに見つけることができるなど、今後、議会運営がさらに効率的・効果的になることが期待されます。

## タブレット導入で期待できる効果

- すべての資料を携行可能
- 必要な資料がすぐに探し出せる
- 当局からの資料をいつでも受領できる
- チャットツールで連絡や情報共有が簡易
- スケジュール機能で日程調整が簡易
- 用紙代・印刷代・郵送代・文書廃棄費用の削減
- 製本等に係る人件費の削減



議会改革とDX化を進めます

DX…デジタル・トランスフォーメーション。  
デジタル技術による変革。

令和4年  
第26回  
(12月12日)

タブレット導入に向けた  
体験会を実施  
ペーパーレス、議会DX化への  
取組の推進

令和4年11月29日伊達市において県内第1例目の高原病性鳥インフルエンザの発生が確認され、続けて12月7日には飯舘村でも発生が確認されました。

これに伴い、町内飼育農家での発生を防ぐため、おじまふるさと交流館に飼料運搬車両の消毒ポイントの設置や、屋外で鳥を飼育している町民に消石灰を配布するなど、町での対策について説明を受けました。

## まん延防止のため消石灰を配布中

- 配布対象者：屋外の小屋で鳥を飼育している方
- 配布数量：一人当たり消石灰1袋（20kg）目安
- 配布場所：役場2階 農林振興課  
（土日祝日は役場北側宿直室にて配布）
- その他：配布にあたっては申請書の提出が必要となります。  
詳細は町ホームページ（QRコードより閲覧可能）をご覧ください。



令和4年  
第27回  
(12月16日)  
ほか

近隣市村で高原病性  
鳥インフルエンザ発生  
飼料運搬車両消毒や  
消石灰配布を実施

令和4年  
第27回  
(12月16日)

旧学校施設等の利活用方法に関する地域意見交換会で出された意見の概要について、当局から報告を受けました。利活用を検討している施設は8か所あり、現在までに4か所の施設に関して意見交換会が行われています。意見交換会は各自治会から選出されたメンバーと町当局にて行われ、町民ならではの目線で建設的な意見が多く出されたとのことでした。

これを受けて議員からは次のような意見がありました。

## 主な質疑

- 町として必要だと思う利活用方法はあるのか。前田遺跡関連の展示場所なども必要と考えられるが。

→ まずは地域の意見を聞きながら進めたい。資料館などは場所の検討も必要となるが、ぜひ実現したい。

- どのようなスケジュールで行っているのか。振興計画にも反映させる必要があるのでは。

→ 令和4年度中には方針を出す予定だが、地区によってはもう少し時間が必要になることが考えられる。振興計画についてもしっかり整合性を図りたい。

- 全国的に空き校舎の利活用は民間が主導しているところが多いため、もっと全国の事例を調査すべき。

→ まずは、地域の意見を聞いたうえで町として考えをまとめていきたい。

※ QRコードより地域意見交換会の概要がご覧いただけます。



旧福田小学校  
(明治7年1月創立 昭和54年3月建築)



旧富田小学校  
(平成元年4月創立 平成元年3月建築)



旧飯坂小学校  
(明治8年12月創立 平成5年2月建築)

旧学校施設等の利活用について意見交換  
各自治会から地域の特色を生かした意見多数





議員がまちの“いま”取材し、レポートします。

# まちれぽ

第6回

## 川俣サッカー スポーツ少年団

取材は令和4年12月20日(火) 午後6時～

- 部員数  
団員7人、スクール生8人
- 練習日 毎週火・木曜日  
午後6時～午後8時
- 練習場所 町体育館
- 連絡・問合せ  
畑 慎裕 (☎024-565-2697) まで。



狙いを定めシュート!! 緊張の一瞬です…!

川俣サッカースポ少は、なんと1980年発足! 42年の歴史があるそうです!

サッカーはどうして人々を夢中にさせるのか?

厳寒の中、その日はスクール生と呼ばれる子どもたちと保護者さんたちが試合形式で練習する日で、大人も子供たちに負けじと、ボールを本気になって追いかけていました。

仲間や相手の動きを瞬時に判断する能力。ボールキープや競り合いに負けないフィジカルやメンタル。サッカーには心技体を鍛えるために必要な要素がたくさんあります。そして、1点の持つ価値が大きいからこそ、ゴールが決まった時の快感! 大人も夢中にさせる理由がわかった気がしました。

みなさん仲良くサッカーを楽しみながら子どもたちの日々の成長をサポートしている様子は、とても自由で楽しそうな雰囲気でした。

また、今年度は2年生が4人も入団したそうで、今後の成長と活躍がとても楽しみだとコーチ陣も喜んでいました。

団員の6年生は、「中学校へ行ってクラブチームに入り、サッカーを続けていきたい! もっともっと上手になりたい!」と決意していました。Jリーグや世界を目指して、活躍する選手が川俣サッカーから誕生する可能性だってあり得る! とても頼もしく、これからも応援していきたいと思いました。



大人も感心するようなプレー! 様になっています♪

現在の監督コーチ陣は、みなさんOB・OGの方々。脈々と受け継がれるサッカー愛! 子どもたちからも川俣サッカーを継承していきたいという想いを感じ、とても感動しました!

スポーツを通して心のパスはこのようにして未来へと続いていくのですね! 心がホットになる取材となりました! 『ブラボー!!』素敵な出会いに感謝(\*^^\*)



【担当】山家 恵子 広報編集委員

# 町民の声

## 私のひと言



### 若者が住んで みたい町に！

五百田  
菅野英夫さん

町の活性化計画、振興計画、都市計画、マスタープランなどに関わり色々な提案をしてきました。かつて東邦銀行川俣支店に若手の「経営者研究会」が町の活性化の提案をしたこともありましたが、町おこしは「若者」「よそ者」「ばか者」のやることだと言われてきました。このうち「若者」の意見や提案を受け入れる素地、土壌が少ないように感じています。デジタル時代にふさわしい発想で、町の歴史に誇りを持って、現場主義の精神で計画を練り上げてほしいものです。川俣町には〈伝統の織物〉〈緑・自然環境〉〈コスキン〉〈川俣シャモ〉〈アンスリウム〉などたくさんあります。これらを土台に若者の意見を取り入れ、自信を持ち、計画を民間で推進していただきたいと希望します。

2年前に我々「里山倶楽部員」が再版した「川俣の里山」という冊子があります。1100メートル以下の9つの里山にも宝が眠っています。ぜひ、ご一読いただき、実際に登って、自然を堪能し、子どもたちにもその良さを教えてください。また、川俣町ゆかりの偉人「古閑裕而」「朝河貫一」らについても子どもたちに伝承し、素晴らしい未来を創造するきっかけをつくり、未来を託したいと思えます。

◇ 広報編集常任委員会  
委員長 高橋道一  
委員 菅野清吉  
委員 佐藤喜三  
委員 山田善三  
委員 作田善三  
委員 家子輝

12月議会では、2年間の調査結果を受け、「議会改革の取組に関する決議」を全会一致で決定しました。これまでも、議員定数の削減や議会傍聴、映像配信、議会だよりのくふうなど、町民の期待に応える議会を目指して改革してきましたが、残念ながら、多くの方に理解されているとは言えません。東日本大震災のときには、毎週、全員協議会を開催し、放射線や除染への対応、復旧・復興事業への要望等に取り組んできました。「川俣方式」と呼ばれる農地除染が実施され、ゼネコンではなく、町の農家に除染費用を支出し、還元できたのは、議会の協議の成果と自負しております。そのほか、宅地除染を先行して実施するなど、裏方ではありましたが、未曾有の災害に果たしてきた議会の役割は大きかったはずですが、評価されるのは執行者である町長、というの悲しさでもあります。故、まだまだ、目標への道のりは険しく、厳しい状況ですが、このたびの決議により、町民に理解され、認められる議会づくりで、皆様のご理解をよろしくお願いたします。  
(佐藤喜三 議員)

## 地方自治研究・ 交流セミナーに学ぶ

県町村議会議長会・伊達郡町村議会議長会主催のセミナーが開催され、全議員で参加しました。福島大学の教授陣が講師となり、いずれの内容も、熱心な質疑応答が交わされました。

日程	場所	研修内容
11月 4日	桑折町 「イコーゼ！」	行政と 議会のDX
12月16日	国見町観月台 文化センター	過疎地域指定と 人口減少対策
1月11日	川俣町役場 大会議室	議員のなり手不 足対策



1月11日 福島大学  
岸見太一 氏



11月4日 福島大学 佐々木康文 氏



12月16日 福島大学 岩崎由美子 氏

## 編集後記